

《基本方針1》

憲法、教育関係法規、学習指導要領、県教育方針、市教育方針をもとに、人権尊重・平和社会実現を基本理念とした教育の確立

《基本方針2》

小規模特認校の取り組みや児童・地域の特性をふまえ、「自己理解・自己実現能力(忍耐力・主体的行動)」「人間関係形成能力(コミュニケーション能力)」を身につけた心身共に健康な児童の育成

<学校教育目標>

自ら目標を決め、実現に向けて励む児童の育成

<めざす児童像>

- 「夢」・・・自己を見つめ、ありたい姿を決められる児童
- 「和」・・・他者を認め、能動的に関わる児童
- 「鍛」・・・自己を律し、自分を高める児童

<めざす学校像>

- 安心・安全で、明るく活力がある学校
- 人権感覚に満ち、信頼できる学校
- 地域に貢献できる学校
- 一人一人が輝く学校

<めざす教職員像>

- 信頼される教職員
- 探求心を持ち、学び続ける教職員
- 人間性や感性、人権感を磨く教職員
- 児童一人ひとりを大切にしている教職員
- 働き方を見直す教職員

(1) よろさと学び、地域・家庭と共に歩む学校づくりの推進

- ①芯の通った学校
～学校教育目標達成に向け「芯の通った学校組織」の定着を図る活力ある学校
- ②確かな絆で結ばれた学校
～学校公開や地域教材の活用により、保護者・地域と共に歩む学校
- ③学校評価による創造的改善を図る学校
～学校評価や学校運営協議会等を活用し、創造的に改善を進める学校
- ④地域を活かし、地域から活かされる学校
～保護者・地域の参画のもと、協働体制の充実した学校

(2) 児童一人一人が輝きながら自立に向かう教育活動の実践

『生きて働く知識・技能の習得』

目的・相手や教科特性に応じた言語スキルの育成
《何を理解しているか、何ができる》

- ①「新大分スタンダード」を基盤とし、AL・UD・ICT・思考ツールを取り入れた授業
- ②明確なねらいと授業展開に応じた「めあて一振り返り、課題一まとめ」の設定
- ③学校内外での「心をこめたあいさつ」(オアシス)活動
- ④すべての活動を通じた、コミュニケーション能力の向上
- ⑤ガイド学習・リーダー学習による集団学習力の育成
- ⑥授業と連動した家庭学習課題

『未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成』

他(ひとものこと)と対話し、考えを持ち、発信できる児童の育成
《理解していることできることをどう使うか》

- ①「練り合う場」を設定した授業展開
- ②「書く・考える・読み解く」時間を確保した授業展開
- ③学年に応じた本の推奨と読書時間の確保
- ④自尊感情の醸成と自己有用感の向上
- ⑤他校や校外施設との交流
- ⑥地域と連携した体験的活動

『学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養』

仲間と協働しながら課題解決をめざす児童の育成
《どのように社会・世界とかわり、よりよい人生を送るか》

- ①お互いを認め合い、「間違い・失敗」を学びにつなげる授業づくり
- ②ねばり強く最後までやり遂げることのできる特別活動の充実
- ③児童会活動を軸とした、話し合い活動や全校で協働した取り組みの実施
- ④教え合い、学び合いある複式授業
- ⑤基本的生活習慣の確立とメディアコントロールスキルの向上
- ⑥児童と児童・児童と教師の温かい人間関係の構築

校種間連携の強化

- ①中学校との9年間を見通した指導と連携
 - ・ 駅川ブロック間の積極的な情報交換
 - ・ めざす子ども像の共有化と系統的実践、研修の充実
- ②幼保こども園との連携

安心・安全の確保(開発的・予防的指導の実践)

- ①安全教育の推進
 - ・ 危機管理体制の充実と安全・防災教育の推進
 - ・ 情報共有、「報告・連絡・相談」の徹底
- ②個々の児童に応じた心のケアと早期対応
 - ・ 児童個々の心の安定に向けた「チーム学校」としての支援
 - ・ SC・SSW・SL等外部機関との連携

(3) 信頼される学校組織・教職員の育成 ～指導の統一性・一貫性と協働体制の確立、働き方改革の推進を図る

- ①専門的知識を持ち、実践的指導力のある教職員 ～ 教科指導力・学級経営力・生徒指導力・人権意識の向上と確立
- ②使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ教職員 ～ 責任感・人間性・対人関係能力の向上、服務規律厳守
- ③柔軟性と創造力を備え、未知の課題に立ち向かう活力のある教職員 ～ 広い視野・柔軟な発想、創造力と見通しのある指導
- ④チーム学校の一員として考え行動する教職員 ～ 個人力と組織力の向上、協働体制・相互補完
- ⑤児童一人ひとりを大切にしている教職員 ～ 気づき・かわり・寄りそう指導・
- ⑥地域に貢献できる教職員 ～ 学校運営協議会等を通じ、地域と共に活動する
- ⑦働き方を見直し、自己管理のできる教職員 ～ 業務の精選・効率化、タイムマネジメント